

南ア・ゴードン財務相更迭、ランド相場に試練

～新財務相・副大臣の手腕に加え、与党ANC内の動向に左右されよう～

発表日：2017年4月3日(月)

第一生命経済研究所 経済調査部

担当 主席エコノミスト 西濱 徹(03-5221-4522)

(要旨)

- 世界経済の回復に加え、国際商品市況の底入れなど外部環境の改善を受けて南ア・ランド相場は堅調に推移してきたが、雲行きが怪しくなっている。財政健全化路線を主導し、ランド相場の下支え役となってきたゴードン前財務相が先月末に突如更迭されたことが大きい。後任には公共企業相を歴任したギガバ内務相が横滑りしたが、財務相としての手腕は未知数であり、金融市場には動揺が広がっている。
- ゴードン前財務相の更迭を巡って与党ANC内で公然と批判が挙がるなど、党分裂の可能性が出ている。2019年の次期大統領選に向けた動きが活発化するなか、党分裂は大統領の求心力ひいては政権能力の一段の低下を招く恐れもある。財務省は新体制下で財政健全化路線を堅持するとともに、与党には党内融和に向けた取り組みが不可欠だが、今後のランド相場はこれらの行方に左右される展開が続くであろう。
- 世界経済が循環的に回復基調を強めるなか、これに伴い国際商品市況の底入れが進むなど、外部環境の改善によって堅調な推移をみせてきた南アフリカ・ランド相場だが（詳細は「[「棚ぼた」で好調が続く南ア・ランド相場](#)」をご参照下さい）、一転して雲行きが怪しくなっている。ズマ政権内部では、ズマ大統領を中心とする財政拡張路線と、ゴードン前財務相を中心とする財政健全化路線との間で、財政政策のスタンスを巡る対立が続いてきた。南アフリカの長期信用格付は主要3社のうち2社が「投資適格級」の最下限とするなか、ズマ政権による政策遂行能力の低さなどを理由に度々格下げが意識される展開が続いてきたが、国際金融市場ではゴードン前財務相の存在が格付維持の「最後の砦」とみられてきた。政府が2月末に発表した2017-18年度予算では、増税をはじめとする歳入拡大により財政赤字の一段の圧縮に取り組むなど財政緊縮姿勢を強めていたが、こうした動きはズマ大統領周辺との軋轢を生む元凶になった。こうしたなか、先月27日にゴードン前財務相とジョナス前財務副大臣は、外国人投資家に対する説明会のために英国と米国を歴訪中、ズマ大統領は突如両者に帰国命令を発出した。その後、30日にズマ大統領は内閣の改造を発表し、ゴードン氏とジョナス氏の両名は更迭されることが明らかになった。その直前に行われた与党ANC（アフリカ民族会議）の幹部会議では、ゴードン氏の更迭について反対の声が挙げられたほか、ANCと協力関係にある南アフリカ共産党（SACP）や経済界などからも反発する動きがみられたものの、ズマ大統領の一存で決定がなされた模様である。後任の財務相には内務相であったギガバ氏が横滑りで就任したほか、財務副大臣には投資会社のCEOなどを歴任したバザレッチ氏が就任している。ギガバ新財務相についてはかつて公共企業相を務めたことがあるなど、同国財政の重石となっている国営企業改革を主導した経験を有する。その一方、ネネ元財務相及びゴードン前財務相はともに、財政健全化を理由に国営企業に対する公的資金注入に反対し、結果としてズマ大統領の不興を買ったこと、ギガバ氏がポピュリズム的な政

図1 ランド相場(対ドル)の推移

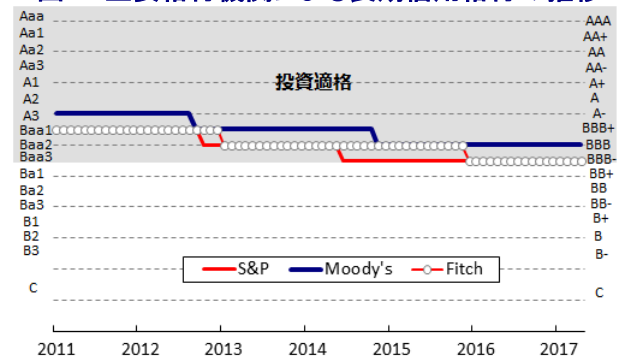


(出所) Thomson Reuters より第一生命経済研究所作成

策運営を志向する向きもあるなど、ギガバ新体制の下での財政運営には不透明感が残る。当面のランド相場は、突然のゴードン前財務相の更迭というネガティブ要素に加え、ギガバ新財務相に対する評価が固まりにくい状況が続くと見込まれ、結果的に調整圧力が掛かりやすい展開となることが予想される。

- ゴードン前財務相の処遇については、上述したように与党ANC内でも反対論が出ていたため、党内が分裂状態となる可能性も出ている。幹部会議では、ズマ大統領の意向にムベテ国民会議（下院）議長やドゥアルテ副幹事長が同調する一方、ラマポーザ副大統領やマンタシェ幹事長などが公然と反対を唱えたとの報道も出ており、党内におけるズマ大統領の位置付けが変わりつつある様子もうかがえる。ANC内では今年6月に政策会議、12月には次期党首選が予定されるなど、2019年にも実施される次期大統領選を巡って党内の駆け引きが活発化するなか、最悪の事態としてANCが内部分裂を起こす可能性も懸念される。ズマ大統領自身を巡る数々のスキャンダルを理由にすでに政権の弱体化が進んでおり、政策遂行能力は著しく低下しているなか、政治的な不安定感が一段と強まることによりさらなる機能不全状態となることも予想される。ゴードン前財務相の更迭を巡っては、野党がズマ大統領に対する不信任案を議会に提出する動きをみせているが、先週2日にムベテ国民会議議長が検討する意向を表明するなど、与党内でズマ大統領に近い立場からも離反に向けた動きが出つつある。過去においては野党の不信任案提出はことごとく失敗に終わっているものの、今回は与党ANC内での分裂の動きもあるなか、その行方に注目が集まっている。仮に不信任案自体が否決された場合においても、与党ANC内におけるズマ大統領の求心力は急速に低下しており、分裂の動きが一段と表面化する事態となれば、そのことを理由に格下げの動きが広がることも予想される。ギガバ新財務相及びバザレッチ新財務副大臣には、主要格付機関が懸念している財政悪化に歯止めを掛けるべく、財政運営に対する透明度を高める取り組みが必要であるなか、投資会社のCEOとしての経験が長いバザレッチ氏の手腕に注目が集まる。他方、与党ANC内の分裂は必至とみられるものの、財政をはじめとする政策面では新体制が円滑な運営が行われるよう支援することが求められる。先行きの見通しは極めて厳しいと見込まれるなか、財務省の新体制の行方と与党ANC内の動向に左右される展開が続くと予想される。

図2 主要格付機関による長期信用格付の推移



(出所)各社ホームページなどより第一生命経済研究所作成

以上